

平成25年(2013年)年頭に当たって

平成24年12月21日現在

自由民主党 世田谷区議団・新風

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、口頭からご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。世田谷区が誕生して81周年の新年を迎えました。さまざまな困難を乗り越えながら、今日まで着実に発展を遂げてきましたが、現在、世田谷区も、厳しい財政状況のもと、山積する課題に直面して

す。しかし、このことは見方を変えれば、行政のありようを見直す絶好のチャンスでもあります。膨らむ行政課題と限られた財源の中で、地方行政に本当に必要なものを英知を結集し、再構築することができれば、自治体は必ずや強くなつていくと確信するものであります。昨年は、私たちが早期実現を訴えてきた外環道整備の着工式や京王線立体化の事業決定が行われ本格的に動き出しました。推進反対を掲げていた保坂区長のもとで、今回実現させたことは大きな成果

であります。今後も我が会派は、首都直下地震への備えなど必要な都市基盤整備の推進、少子高齢社会への対応など誰もが安心して住み続けられる世田谷型福祉の展開など、安心安全のまちづくりのため、責任政党である区議会第一会派として、全力で取り組む決意であります。個別的な政策課題については、以下のとおり取り組みます。

- 高齢者・障害者施策（地域密着型サービス施設の充実や介護者支援策の強化、障害者地域生活支援策の拡充、発達障害児支援策の充実、福祉人材確保策の充実など）
- 子ども施策（保育待機児対策の推進、在宅子育て支援事業の拡充、児童虐待防止策の強化など）
- まちづくり（区民参加を支える地域行政制度の一層の充実、震災を踏まえた地域コミュニティの活性化など地域の絆の強化など）
- 産業振興（世田谷らしいものづくり環境の整備、若者の就労支援の充実、農業経営の支援や農地保全策の拡充など）
- スポーツ振興（区内大学や民間施設の活用などスポーツ施設の整備・充実、生涯スポーツ・レクリエーション施策の推進など）
- 教育（世田谷9年教育の推進、豊かな心を育む学校教育内容の充実、学校適正配置の推進など）

私たちが自由民主党世田谷区議団・新風は、次世代に安心を残し、未来社会の発展につなげていくことを使命とし、区民の皆様とともに取り組んでまいります。



上山なおのり
〒154-0002
下馬1-24-15-102
6805-2607



上島よしもり
〒156-0052
経堂1-21-16-3F
5433-5166



石川 征男
〒157-0072
祖師谷1-9-16
3483-5111



あべ 弘 幸
〒154-0002
下馬3-16-13
3413-3740



下山 芳男
〒154-0011
上馬4-2-5
3421-1447



宍戸 のりお
〒156-0043
松原3-29-18
3323-7223



小松 大祐
〒157-0062
南鳥山6-3-9-502
6909-0217



小泉 たまみ
〒157-0068
宇奈根3-14-28
3415-0305



三井 みほこ
〒157-0066
成城5-23-1
3482-1950



畠山 晋一
〒156-0041
大原1-16-3-112
3466-7005



菅沼 つとむ
〒154-0015
桜新町1-14-18
3428-2161



新川 勝二
〒154-0011
上馬5-19-16-301
3429-5650



和田 秀 壽
〒158-0083
奥沢1-40-2
3720-3542



山内 彰 彰
〒154-0001
池原4-29-18
3411-1488



山口ひろひさ
〒158-0082
等々力5-4-2-602
3702-1819



中村 公太朗
〒158-0082
等々力8-21-3-206
090-8050-2750



中塚 さちよ
〒156-0055
船橋1-1-11松本ビル3階
3429-6078



風間 ゆたか
〒154-0002
下馬3-24-19
080-5466-0024



桃野よしふみ
〒157-0067
喜多見8-4-12-103
6751-1781



田中 優 子
〒156-0043
松原4-34-20-309
3322-8131



おほ 庭 正 明
〒157-0063
粕谷3-15-3
3307-1179



ひうち 優 子
〒155-0033
代田6-6-22-102
3466-3858



川 川 あ や
〒156-0051
宮坂2-26-24-203
5799-7765

世田谷無所属

謹賀新年 最小の「コスト」で最大の区民サービスを提供できるよう、区民の皆様の立場に立って、より多くの方の声を反映させるために努力してまいります。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

世田谷民主党

新春のお慶びを申し上げます。区では利用者負担の見直しが行われます。であればこそ、区民の理解を得られないおかしな議員特権にメスを入れなければと、強く感じています。ひとり80万円もかかる議員の姉妹都市交流と海外視察、元議員だけが天下っている選挙管理委員の実態。こうしたおかしな制度を区民に幅広く知ってもらうこと、そしてそれを変えて行くことが我々の役目だと思っております。本年も福祉と行革と議会改革に全力で臨んで参ります。引き続き皆様からのご意見と叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

みんなの党・世田谷行革110番

迎春 「みんなの党・世田谷行革110番」は、区民に負担を強いる前に区職員人件費の削減を求め、徹底的な情報公開の実現、税金の無駄遣いの監視、脱原発の実現、新エネルギーの活用、安心・安全の街づくりを進めてまいります。また、従前より取り組んでいる首都直下地震対策のほか、その先の復興に重点をおいた施策の推進を図ります。今後も、保坂区長の現実無視の理想論に惑わされることなく、無駄や不正に対して厳しく追及し、よいところは伸ばしていく、区民の代表として是々非々の立場でしっかりと活動してまいります。

レインボー世田谷

慶春。一人の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果をあげることが出来ます。本当に困っている人こそ声を上げることが難しい。少数者として生きてきた経験を糧に「ちいさな声」を代弁します！

議会日誌

閉会中に開催された委員会

11月1日(木)	都市
5日(月)	議運
12日(月)	企画、区民、文教
13日(火)	福祉、都市
14日(水)	分権、災害、環境、交通
16日(金)	議運
19日(月)	議運
20日(火)	企画
26日(月)	企画

会期中の主な会議日程

11月27日(火)	本会議（代表質問、議案の付託）、企画、議運
28日(水)	本会議（代表質問、一般質問）、都市
29日(木)	本会議（一般質問、議案の議決、議案の付託、請願の付託）、議運
30日(金)	企画、区民、文教
12月3日(月)	福祉、都市
4日(火)	分権、災害、環境、交通
6日(木)	本会議（議案の議決、請願の付託など）、議運

委員会名称

企画	＝企画総務常任委員会
区民	＝区民生活常任委員会
福祉	＝福祉保健常任委員会
都市	＝都市整備常任委員会
文教	＝文教常任委員会
議運	＝議会運営委員会
分権	＝地方分権・地域行政制度対策等特別委員会
災害	＝災害・防犯・オウム問題対策等特別委員会
環境	＝環境・エネルギー問題対策特別委員会
交通	＝公共交通機関対策等特別委員会

新年あけましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。皆様からの公明党への温かなご支援に心より感謝申し上げます。

日本は今、地域や家族の人的な「つながり」の薄れから、孤独死などの社会問題が起きております。今こそ、一人ひとりを大切にする社会の実現が不可欠であり、公明党は「孤立」から「支えあい」の社会への転換を目指し、新しい福祉社会を築いてまいります。

わが党は「大衆とともに」との立党精神のもと「3000人を超える地方議員のネットワーク」があります。どこまでも「現場第一主義」に徹し、区民の声を政策に練り上げ、その実現を図ってまいります。「国は土からできているのではなく、人々の心からできている」とは、インドの詩人タゴールの言葉です。国民一人ひとりが輝いてこそ国も輝きます。人々の心に希望の灯りをともすべく、全力で取り組んでまいります。



杉田 光信
〒157-0061
北鳥山6-32-16
3308-4033



佐藤 弘人
〒157-0071
千歳台3-21-14
3482-7732



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
3427-0557



板井 啓
〒158-0087
玉堤1-16-28
3704-8405



平塚 敬二
〒154-0022
梅丘3-4-12
3420-0240



津上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-28-11
5787-6162



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
3327-0443



高久 則男
〒154-0005
三宿2-14-7-304
3422-0828



星 養一
〒154-0016
弦巻1-28-18
3426-7197



福田 美
〒154-0017
世田谷4-7-33
5797-9825

以下、具体的な取り組みを述べます。

- ◎福祉先進都市せたがやを目指す
- ◎高齢者見守りネットワークの構築
- ◎保育待機児解消の取り組み
- ◎このころの健康対策、④梅ヶ丘病院跡地を福祉の総合拠点として整備、⑤がん検診の充実とがん対策条例制定
- ◎自立都市せたがやを目指す
- ◎児童虐待対策の強化、②動物殺処分ゼロへの取り組み強化、③ムダ削減による財源確保、④若者および高齢者の雇用の確保、⑤災害対策総点検と着実な整備
- ◎環境都市せたがやを目指す
- ◎環境配慮型リノベーション助成の実施、②都市型水害対策の強化、③省エネ・創エネルギーの促進
- ◎まちづくり先進都市せたがやを目指す
- ◎京王線連続立体交差事業の推進
- ◎自転車走行環境の整備、③災害に強い街づくりの推進
- ◎教育都市せたがやを目指す
- ◎世田谷9年教育の推進、②魅力ある公教育の確立と特別支援教育の充実、③いじめ・不登校対策の強化、④幼児教育の充実

生活者ネットワーク 社会民主党世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。昨年は、誰もがありのまゝ暮らせる人権尊重社会の実現をめざし、区民の皆様と活動してまいりました。いまだ改善しない



沢 としみ
唐
〒158-0083
奥沢4-27-4
3727-2950



田 靖子
植
〒158-0096
玉川台1-14-3
5491-2425



高岡 純子
高岡
〒156-0042
羽根木1-31-3
3328-2915



里 美
桜井
〒157-0065
上祖師谷5-20-5
3326-9665



てるや 里美
〒154-0021
豪徳寺1-20-7-101(事務所)
3420-0737

経済・雇用等課題は山積です。今年も、引き続き区政報告会の開催等を通じ、「区民が主役の区政の実現」へ取り組みを進めます。

- 災害に強く、誰にもやさしい福祉のまちづくりを推進します。
- 原発ゼロ社会をめざし、エネルギー政策の転換を進めます。
- 放射能から子どもたちを守るために

日本共産党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。日頃からの日本共産党へのご支援に感謝申し上げます。

区政の第一のテーマとして地域経済の活性化にとりくみます。環境・エネルギー、防災を仕事おこしと雇用の拡大につなげます。区内業者に発注する住宅の省エネや耐震化のリフォームに区の助成を

進めます。公契約条例を進めます。福祉の拡充は急務です。特養老人ホームや保育園の増設を進め、区内業者に発注します。介護保険料の軽減制度を拡充します。梅ヶ丘病院跡地に子ども心の心とからだの健康センターをつくりまします。

大型道路の整備予算は毎年数億円がつかい残されています。道路整備予算は削減し、福祉やくらし、防災のための財源をつくりまします。今年も、区民が主人公の区政をつくるために全力をつくします。



桜井 稔
〒154-0024
三軒茶屋1-6-11
5481-2928



江口 じゅん子
えぐち
〒156-0044
赤堤1-40-13-303
5300-2735



村田 義則
むらた
〒158-0081
深沢4-7-12
3702-3206



中 光夫
なか
〒155-0033
代田2-31-4-303
3795-7091

未来あらた世田谷

頌春。本年も、少子・超高齢化社会におけるさまざまな課題を中心に、行財政経営の改革、環境・エネルギー問題などに取り組みます。今年こそ待機児数都内ワースト1位を返すべく提言していきます。



佐藤 美樹
〒156-0052
経堂2-4-2-402
6379-8300

緑の党 Greens Japan世田谷

頌春。世界諸国の緑の党と繋がり、子供たちの未来に責任を持つ政治を創るため、昨秋、新会派を立ち上げました。緑と平和こそ世界を救う。原発脱被曝と緑の経済、平和憲法改悪阻止を世田谷から。



下 泰之
きした
〒155-0033
代田4-24-15-102
5355-1283

みんなの党

謹賀新年。一人からの世田谷改革です。理の政治を目指します。政治理念は「脱原発」「地方主権」「生活重視」です。請願・陳情審査は、全力で取り組みます。勿論、その判断は、是々非々で臨みます。



すえおか 雅之
〒157-0066
成城4-10-16
090-9813-5082

減税世田谷

+500万円の議長役職手当、議長公用車経費70万円、自動車通勤議員26人分の専用無料駐車場等、「議会や役所の常識は区民の非常識」、税金で食べている者が楽をして税金を払う者が苦勞する社会を変えます。



あべ 力也
りきあべ
〒157-0076
岡本1-38-14-306
090-9314-9608

無所属

迎春。収入が減っても支出は変わらない。区の財政を一言で言えば「そうなると思います。改めて「もったいない」精神を発揮しなくてはなりません。今年も現場主義で明るく活動してまいります。



あおぞら こうじ
青空
〒156-0041
大原1-39-1
3485-2726

代 表 質 問

11月27日及び28日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団・新風
小松 大祐議員

環7横断橋の整備財源の見直し

質問 小田急線上部利用で区長が招いた都などの関係悪化が調整不足を生み、環7横断橋工事の一部が急遽補正予算対応となった。補助金など財源の確保は大丈夫か。
副区長 24年度の施工は想定外で、一部の工事の補助は受けられない。効果の高い福祉政策への転換

質問 増大する福祉関連経費の抑制と多様な福祉ニーズへの対応が急務だ。子ども医療費助成を今後どうするかなど、より福祉効果の高い方策の検討や議論を進めよ。
子ども部長 助成制度の運営のあり方について、継続して検討する。

災害時の緊急対応財源の確保

質問 大規模災害時の緊急対応に充てる財源が災害対策基金の10億円程度では不十分だ。国や都の支援を待たずに対応できるように、財政面の備えにも万全を期せよ。
政策経営部長 財政調整基金の活用が可能であると考えている。

通学路の安全対策の早急な実施

質問 警察と合同で実施した区立小通学路の安全点検の結果、直ちに対策が必要な箇所が約40にも上った。対策工事の完了時期を定め、一刻も早く危険な状態を解消せよ。
土木事業部長 24、25年度で25カ所の対策工事を完了させる。

学校統合跡地での防災機能の確保

質問 区立中の統合で生じる跡地を地域防災の観点で活用すべきだ。統合後も防災倉庫を維持するなど、引き続き避難所として機能するよう、必要な策を講じよ。
危機管理室長 関係部署と連携し、可能な限り防災機能を確保する。

「世田谷ナンバー」の実現

質問 自動車のご当地ナンバーには地域ブランドの向上による産業の活性化など、多くの効果が期待される。国が拡大方針を示したこの機に世田谷ナンバーを実現せよ。

区内産業団体などと相談して取り組みを進めるよう指示した。

都市農地の保全に向けた取り組み

質問 防災や景観保全など多くの役割を担う区内農地が減少し続けている。これ以上の減少をとめるため区が重点地区に掲げた農業公園の都市計画決定を早急に進めよ。
子ども部長 都市計画決定が進むよう、調査検討の着手に努める。

環境対策室長 自動車業界などの動向も注視し、課題整理を行う。
障害者のスポーツ環境の拡充 区内の障害者児が気軽にスポーツを楽しめる機会を拡充すべきだ。運動施設を持つ大学に場の提供を働きかけるなど、地域資源を活かした取り組みに力を注げ。

保健福祉部長

大学などとの連携も含めスポーツの機会を確保する。
部活動の活性化に向けた支援拡充 中学校での部活動には、学校や地域への愛着心や社会性を育むなどの大きな意義がある。指導者の確保や地域団体との連携強化などに努め、部活動を活性化せよ。

教育政策部長

地域のスポーツ文化団体との連携などを検討する。
町会や自治会への加入促進 町会や自治会は地域コミュニティの核であり、災害対策などの観点から多くの区民の加入が望まれる。条例を制定し、区が積極的に加入促進活動を支援せよ。

生活文化部長

条例の制定を含めた支援のあり方の検討を進める。
職員配置の最適化 将来的な行政需要を見据えた組織運営の最適化を描くことが必要だ。人員を減らすところとふやすところを明確にしてメリハリのある職員配置を行え。

総務部長

適材適所の配置を行うなど、人材の有効活用を進める。

公明党世田谷区議団
岡本のぶ子議員

避難所での飲料水の確保

質問 防災対策を一層強化すべきだ。災害時に避難所で飲料水を確保する手段の一つとして、消火栓の水を利用できる仮設給水装置の導入を都水道局に強く求めよ。
危機管理室長 早期に数多く供給されるよう、水道局に強く求める。

シニア世代と考える産業政策 世田谷らしい産業活性化策が必要だ。区内に多く在住している社会経験が豊富なシニア世代と産業活性化について考える場を積極的に設け、産業政策に生かせる。
産業政策部長 起業希望の高齢者などから意見を聞く機会を設ける。

高齢者見守りネットワークの充実

質問 災害時に高齢者の命を守るには、平時から高齢者の孤立を防ぐ取り組みが必要だ。3地区でモデル実施している高齢者見守りネットワークづくりを全区展開せよ。
地域福祉部長 町会などの協力や理解を得ながら、全区に広げたい。

省エネ施策での区内事業者の活用

質問 区は省エネを推進するため、工口住宅の普及促進を図るとして、実施の際は、地域経済の活性化の観点から区内の住宅関連事業者の活用促進に積極的に取り組めよ。
都市整備部長 区内工務店の活用や関連制度の連携などを検討する。

大腸がん検診の受診率の向上

質問 大腸がん検診は、区が長寿健診との同時受診を可能にしたため受診率が向上した。一層の受診率向上に向け、特定健診なども同時に受診できる体制を整備せよ。
副区長 特定健診との同時受診など、体制の整備について検討する。

認知症の重度化の予防

質問 認知症の重度化の予防は区の重要な課題だ。軽度認知症の早期発見と早期治療に向け、国が実施予定の認知症初期集中支援のモデル事業に取り組み。

国の検討状況を確認し、事業の活用に向け準備する。

地域福祉部長

質問 区は梅ヶ丘病院跡地に心の健康相談機能の拠点を整備予定だ。支所などの役割分担や松沢病院との連携強化に着実に取り組めよ。
保健所長 支所などの役割を整理する中で、事業方針を策定する。若者を支援する拠点の整備

質問 心の健康づくりを進める上で、思春期や青年期へのアプローチが最も重要だ。総合福祉センター移転後の跡地に、生きづらさを抱える若者の支援拠点を整備せよ。
子ども部長 子どもと青少年を支援する拠点の整備に向け検討する。

就学前教育の機会の確保

質問 子ども的人格形成に就学前教育は重要な役割を果たす。区立幼稚園のあり方の見直しは、全ての子どもが就学前教育を受けられる体制を確保する観点で進めよ。
教育次長 就学前教育の充実の点から、国の動向を踏まえ検討する。

生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

羽田 圭二議員
区民意見を反映した25年度予算 排除のない社会の実現など我々の主張や区民意見交換会での意見など、区は多様な声を聞いてきた。どのような将来像をもとに25年度予算を編成するのか。
区長 災害対策や環境施策を強く進める都市を念頭に予算編成する。

子どもと向き合う教育の推進

質問 子どもに寄り添い、子どもと向き合う教育を進めるべきだ。人権擁護の新たな仕組みづくりを進めるためにも、学校や地域と一層連携し教育施策を推進せよ。
教育長 地域や保護者、教職員とともに区の教育を充実していく。

都との連携による就労支援の強化

質問 働くことを軸とした安定した社会を実現すべきだ。就労支援や区内産業の活性化による雇用創出に都と連携して一層取り組み。

都や産業振興公社と連携し、就労支援策を進める。

産業政策部長

質問 誰もが安心して暮らせる地域社会を実現すべきだ。梅ヶ丘病院跡地を医療と福祉の一体的なサービスを提供する拠点とし、多様な事例に対応できる体制をつくれ。
副区長 跡地が保健医療福祉の全区的拠点となるよう方針を定める。

区にふさわしいエネルギー政策 原発ゼロの実現に向けたエネルギー政策が必要だ。太陽光発電の普及によるエネルギーの地産地消など、世田谷にふさわしいエネルギー政策を積極的に展開せよ。
区長 エネルギーの地産地消を巧みに展開するまちをつくりたい。

子どもを放射能から守る取り組み

質問 子どもを放射能から守るには内部被曝に細心の注意を払う必要がある。子どもや保護者向けの内部被曝に係る学習機会を設けよ。
教育政策部長 関係所管や区立学校の校長会と連携して検討していく。

日本共産党世田谷区議団

黒吉 ゆみ議員
川場移動教室の中止 区は放射線量が高い川場村での移動教室をいまだに続けており、本気で放射能から子どもを守るといふ姿勢が感じられない。別の場所での実施を直ちに検討せよ。
教育次長 放射性物質の数値が悪化しない限り、今後も継続する。

子どもの心の問題への支援強化

質問 子どもの心の問題への支援を強化すべきだ。梅ヶ丘病院跡地に整備予定の児童発達支援の拠点は、相談や療育、医療の機能が一体となった支援を展開せよ。
保健福祉部長 医療的ケアを含め、多様な事業の実施を想定している。

区立幼稚園の存続

質問 区は区立幼稚園を廃止し、用途転換することを検討中だ。区立幼稚園は介助が必要な子どもを受け入れなどで重要な役割を担っ

てきており、今後も存続させよ。

教育次長

公立私立の役割に留意し、運営形態などを検討している。
保育室への支援拡充 保育室はきめ細かい保育サービスを行っており区民の評価が高いが、区は新規開設や移転を認めていない。保育室が減少していることを踏まえ、支援を拡充せよ。
子ども部長 国の動向を注視しつつ、補助のあり方などを検討する。

高齢者紙おむつ支給削減の撤回 紙おむつ支給の削減は被介護者がいる世帯の家計に大打撃を与え、介護の質の低下につながりかねない。区長は公約に逆行するこの福祉の切り捨てを撤回せよ。
副区長 紙おむつ利用者の抑制に向けた介護予防の充実などを行う。

大型開発優先の区政からの転換

質問 区長は大型開発優先の区政からの転換という公約の実現に取り組むどころか、大型開発を進めている。公約を守る気はあるのか。
区長 区内の大きな事業について見直しをかけ、検証を行ってきた。

住宅耐震化の推進

質問 住宅耐震化の推進に向け、新宿区では違法建築物にも耐震化工事費の補助を行っている。区も区内全ての住宅の耐震化が進むよう、支援のあり方を見直せよ。
都市整備部長 ささまざまな機会を捉え耐震化促進の啓発などを行う。

世田谷らしい公契約条例の制定

質問 公共サービスの質を確保するため、公契約条例を制定すべきだ。制定に当たっては、建設関連の産業だけでなく介護や保育など全公共サービスを対象とせよ。
財務部長 現在、先行自治体の例などの研究を重ねている。

街づくり誘導指針のつくり直し

質問 明大八幡山グラウンド跡地への高層マンション建設を地域住民は望んでいない。高層化を誘導する現在の街づくり誘導指針を地域住民の声を聞いてつくり直せよ。
烏山支所長 住民参加の意見交換会を開くなど丁寧な対応に努める。

代 表 質 問



代表質問、一般質問の模様をホームページで
ライブ中継・録画配信しています。

<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>

議会中継 をクリック！

世田谷民党
風間 ゆたか議員

福祉文化都市を実現する予算

質問 今定例会で区長が提案した福祉施策の区民負担増は自身が目指すとした福祉文化都市の実現と整合しない。区長は福祉文化都市を25年度予算でどう実現するのか。

区長 梅ヶ丘病院跡地への福祉保健医療拠点の整備などに取り組み、災害対策名目の道路整備の見直し

質問 旭小周辺の130号線拡幅のような、災害対策に便乗した道路整備が区内で散見される。災害対策としての優先順位を見きわめて真に必要な道路のみを整備せよ。

副区長 木造住宅密集地域の狭い道路の拡幅などは重要と考える。外郭団地への天下りの廃止

質問 外郭団地について、区職員の下り廃止と公募による幹部職員の積極的な登用を再三求めてきたが、一向に改善が見られない。区職員優遇の現状を早急に改めよ。
総務部長 最もふさわしい人材を集められるよう、団体を支援する。

希望丘中跡地活用のあり方

質問 希望丘中跡地について、多くの区民の要望を満たす活用策を検討すべきだ。区が示したサービス公社の新社屋建設案は撤回せよ。
副区長 今後、跡地の効果的な活用について検討を進めていく。

学校内の安全対策の強化

質問 学校内の安全対策について数々の改善点と充実策を具体的に示し要求してきたが、そのほとんどが実現していない。25年度予算には安全対策の強化を盛り込め。
教育次長 区長部局と連携し、子どもの安全対策の充実に取り組み、

新体制となる教育委員会への期待

質問 今定例会で教育長を含む教育委員2名が交代する予定だ。区長は新たな体制となる教育委員会にどのような期待をしているのか。
区長 関係者の声を迅速に聞く体制を積極的に構築してもらいたい。

みんなの党・世田谷行革10番
田中 優子議員

徹底した人件費の削減

質問 持続可能な財政基盤の確立は重要だが、区民に負担を強いる前に職員費削減など身を削る努力をすべきだ。特別区人事委員会に判断を委ねず、人件費を削減せよ。
区長 今回の人件費削減が最終的なものとは考えていない。

多額のサービス公社の積立金
質問 サービス公社にはそのほとんどが区との契約で得た利益による22億円もの積立金がある。もとは税金とも言える積立金の使い道について区はしっかりと指導せよ。

政策経営部長 積立金の活用が目的に沿うものとなるよう指導する。

川場村の放射能除染の支援
質問 川場村の放射能除染への国の支援が不十分だ。縁組協定を結んでいる区として、世田谷川場ふるさと公社を通じ除染を支援せよ。

生活文化部長 川場村の意向を踏まえ、支援について相談する。

川場移動教室への区長の姿勢
質問 区長はみずからの就任以降の活動を記した著書を出版した。この著書に放射線量の高い川場村で移動教室を実施したことを書かなかったのは無責任ではないか。

区長 次の機会があれば川場の取り組みについても触れていきたい。
教科日本語の取り組み状況
質問 教科日本語は全国に先駆けて取り組んだ区の誇れる施策だ。児童生徒の感想を含めた区立校での取り組み状況を示せ。

教育政策部長 児童生徒が楽しみながら授業に取り組んでいる。

オープンカフェの歩道への設置
質問 新宿区では、公道でのオープンカフェの常設によりまちのにぎわいが戻ったと聞く。区も下北沢のにぎわいを高めるため、再開発で整備予定の歩道に設置せよ。

副区長 オープンカフェはにぎわい創出の一つの手法だと考える。

一 般 質 問

11月28日及び29日の本会議では、28名の議員が
区政をめぐる諸課題について質問を行いました。
その一部を要約してお伝えします。



尺八演奏の様子 (次大夫堀公園民家園)

本文中で使用している省略表記

土木事業部長＝土木事業担当部長
みどりとみず部長
＝みどりとみず政策担当部長
環境対策室長＝環境総合対策室長
保健所長＝世田谷保健所長
支所＝総合支所

小泉 たま子議員 (自民新)

高齢者見守り施策の効果的な展開

質問 区民の地区活動には「福祉」や「区民生活」という区の組織上の区分は存在しない。高齢者見守り施策の展開に当たっては、行政の縦割りを排除して臨め。
答弁 施設の合築による機能面での連携など領域を超えて取り組む。

選択の自由とそれに伴う自己責任
質問 区長は電力を選択できる社会を目指すとしたが、本来生活に不可欠なものの安全安心の基本は行政が指し示すべきものだ。選択と責任についての区長の考えは。

答弁 自由化は原発事故被害を繰り返さないとの思いで掲げている。

幅広い青少年施策の展開
質問 区の青少年施策の対象が18歳までであることに大きな疑問を感じる。青少年の専管部署を設け、幅広い視点での施策に青少年対策を位置づけて取り組め。
答弁 18歳以降も支援は必要であり、窓口の設定など準備していく。

桜井 純子議員 (生新社)
子どもの人権擁護の新たな仕組み
質問 いじめ問題などが深刻化する中、子どもの人権擁護に向け、新たな機能をつくる区の取り組みを評価する。機能の設置の意義と既存の相談機関との違いを示せ。
答弁 悩んでいる子どもを支援する公正中立な第三者機関である。

DV被害者の同行支援の利用促進
質問 DV被害者の社会生活を支える上で同行支援サービスは不可欠だが、活用が進んでいない。区は相談事業との連携体制を強化するなど、利用促進への改善を図れ。
答弁 相談機関などと協力しながら、改善に向けて検討を進める。

排除のない共生のまちづくり
質問 高齢者や障害者、子どもなどが安心して暮らせる地域を実現すべきだ。福祉分野だけではなく、都市デザインにおいても、排除のない共生のまちづくりを進めよ。
答弁 ユニバーサルデザインの考えに基づき都市の実現を図る。

桃野 よしふみ議員 (み・行)

工ファミ世田谷への不当な支出

質問 区の外郭団体である工ファミ世田谷が区から受注している番組の放送時間は全体の3%ほどだが、受注額は売上高の30%に上る。外郭団体への不当な支出を見直せ。
答弁 番組制作の品質に留意しながら、経費削減が可能か精査する。

鎌田区民センターでの救急対応
質問 鎌田区民センターで利用者が倒れ病院に運ばれたが死亡した事例で、施設管理を任された公社の職員はAEDの処置を行わなかった。この対応は適切だったのか。
答弁 関係機関などに連絡するなど、適切な措置を講じたと考ええる。

二子玉川の風害対策の強化
質問 二子玉川再開発に伴う風害は、依然解決していない。専門家を招いたチームを結成し、地下道などの設置も視野に入れ、一段と風が強まる春までに解決に当たれ。
答弁 専門家の意見を聞き、実施可能な対策を再開発組合に求める。

佐藤 美樹議員 (あらた)
PFIのリース方式の会計処理
質問 他自治体ではPFIの手法におけるリース方式により庁舎を建てかえた事例がある。区が同様の手法を用いた場合、会計処理上資産や債務はどうか計上されるのか。
答弁 リース資産が発生した場合、関係所管で調整の上検討する。

小規模保育施設への積極的な支援
質問 保育室などの小規模保育は、保育待機児の解消に不可欠だ。これらの施設が法改正で創設される小規模保育への給付制度の対象施設となるよう区は支援せよ。
答弁 子どもの利益を保障する施設となるよう移行などを支援する。

住民参加での学校跡地活用の検討
質問 船橋中と希望丘中の統合について、地域では意見の相違が生じた。希望丘中跡地活用策を住民同士が十分話し合う機会を設け、地域のきずなの再構築を目指せ。
答弁 区民から意見をもちつたため、意見交換会の開催を検討している。

福田 妙美議員 (公 明)

支援が必要な人への一体的な支援

質問 地域で孤立し支援が届かない人に必要なサービスを提供できる体制が必要だ。地域保健医療福祉総合計画は、実態把握と一体的な支援の充実の観点から策定せよ。
答弁 地域の福祉活動との連携など総合的な支援の充実を検討する。

健康白書の作成
質問 区民の健康増進を図るには、区民の健康状態を分析し、科学的な根拠を示した上で健康課題などを区民にわかりやすく周知することが必要だ。健康白書を作成せよ。
答弁 他自治体の例も参考に、生活習慣病対策検討会で検討する。

砧小周辺の通学路の安全対策
質問 砧小東側の道路はスクールゾーンに指定されているが、登校時間帯に世田谷通りへの抜け道として多くの車が進入しており、危険な状況だ。安全対策を強化せよ。
答弁 警察や地域と連携し安心して通学できるように体制を整備する。

高橋 昭彦議員 (公 明)
災害時の情報伝達機能の強化
質問 災害時には迅速な情報の収集や伝達の可否が生死を分ける。最前線で活動する消防団とまちづくりセンターなどの情報伝達機能の強化に向け通信機器を充実せよ。
答弁 消防団への資機材の配備に向け、消防署と連携して取り組む。

赤堤1丁目への小公園の整備
質問 木造住宅が密集する蒙徳寺駅周辺地区の対策が急務だ。市街地の燃えにくさを示す不燃領域率の向上に必要な空地を確保するため赤堤1丁目に小公園を整備せよ。
答弁 赤堤1丁目小公園整備に向け積極的に用地取得に取り組む。

住宅の省エネ化の推進
質問 玉川支所では屋上に遮熱素材を塗布し室温上昇の抑制に成功した。住宅の省エネ化推進に向け、同様の手法を用いた環境配慮型住宅リノベーションを促進せよ。
答弁 モデル事業で検討を進め、区内住宅への普及を図っていく。

問

質

般

一

山内 彰議員（自民新）

障害者への災害時の支援策の充実

質問 災害時における障害者への支援策を充実すべきだ。発災直後の対応から避難所のあり方、生命維持に係る機器類の確保などの課題を検証し、大規模地震に備えよ。

答弁 関係機関との連携を強化し、総合的な取り組みを進めていく。

災害時の二次避難所の拡充

質問 区は災害時の協定により障害者などの災害時要援護者を受け入れる二次避難所の確保を進めているが、いまだに不足している。避難所拡充へ向け対策を強化せよ。

答弁 二次避難所の協定施設の一層の拡充が必要だと認識している。

コミュニケーションボードの導入

質問 イラストなどで情報を伝えるコミュニケーションボードは災害時に障害者などと意思疎通を図る上で有効だ。防災訓練の中でボードの存在を広く周知せよ。

答弁 他自治体の例を参考に、訓練への活用や導入を検討する。

新川 勝二議員（自民新）

高次脳機能障害者のリハビリ支援

質問 高次脳機能障害の症状は言語障害や記憶障害など多岐にわたる。それぞれの障害に応じたりハビリ環境を整備し、安定した日常生活に復帰できるよう支援せよ。

答弁 高次脳機能障害の失語症の方などへの訓練を取り入れている。

障害者に寄り添った支援の拡充

質問 高次脳機能障害者は記憶障害により外出や社会参加が難しいなど生活する上で大きな苦労が伴う。こうした課題を理解した上で、本人に寄り添った支援を拡充せよ。

答弁 本人に寄り添った支援がでるよう人材育成などに取り組む。

暴力団排除の取り組みの強化

質問 全国で暴力団による市民への犯罪が後を絶たない。今定例会で提案された暴力団排除活動推進条例の制定を機に、暴力団排除への実効性ある取り組みを展開せよ。

答弁 都条例との一体的運用により地域全体での排除活動を進める。

あべ 力也議員（減 税）

正当性のない区民負担増の撤回

質問 不明確な受益者負担や公平性理由の区民負担増強行に、区長は弱者の味方だと信じている区民は戸惑っている。正当性がなく区民理解の得られぬ負担増を撤回せよ。

答弁 区民の声を聞き、内部努力も徹底して行政経営改革を進める。

区幹部職員の内外公募の実施

質問 職員のやる気の向上とともに民間のアイデアの導入を図る人事制度を構築すべきだ。大阪市などの例を参考に、区の幹部職員を区役所の内外から広く公募せよ。

答弁 管理職昇任選考や勤務評定での登用が適当であると考える。

認証保育所利用者への補助の増額

質問 区の認証保育所利用者への補助は月最大2万円と少なく、最大6万円000円の杉並区とは大きな格差がある。低所得者の負担軽減を図るため、補助を増額せよ。

答弁 国の動向を注視しつつ、利用者負担のあり方の検討を進める。

植田 靖子議員（生ネ社）

たんの吸引研修の区での実施

質問 介護職員がたんの吸引を行うには研修の受講が必要だが、研修の実施体制が不十分だ。いちばん必要な在宅療養者に対応できるように区でも研修を実施せよ。

答弁 どのような研修を行うことが望ましいか慎重に検討を進める。

障害者チャレンジ雇用の改善

質問 一般雇用に向け経験を積む区の障害者チャレンジ雇用は、雇用期間が短く、受け入れ部署も少ない。就労実績となる長期間働ける非常勤職員とするなど改善せよ。

答弁 関係部署が連携し、雇用期間の延長などに向けて取り組む。

障がい者就労施設への発注の促進

質問 障がい者就労機会拡大に向け、障がい者就労施設への発注をふやすべきだ。4月の障害者優先調達推進法の施行に合わせて目標数値を設けた調達方針を策定せよ。

答弁 関係所管で連携して発注促進などを検討し調達方針を定める。

和田 秀壽議員（自民新）

局地豪雨への対策の強化

質問 全国で時間雨量100ミリを超える局地的豪雨が多発するなど、近年雨の降り方は変化している。区内で浸水被害が発生している現状を踏まえ、水害対策を強化せよ。

答弁 25年度には仮称豪雨対策後期行動計画をまとめる予定である。

自転車歩行者の安全な走行環境の整備

質問 自転車は区内の南北の移動にも有効な交通手段であり、安全な走行環境の整備に力を入れるべきだ。自転車が行き交う道路の端の破損やすき間を早急に解消せよ。

答弁 道路の維持保全に努め、安全に走行できる環境整備を進める。

区立校での防災教育の充実

質問 金石市では徹底した防災教育により、先の震災時に多くの子どもが自分の判断で避難できた。区も子どもの自主的に行動する力を育てるため、防災教育を充実せよ。

答弁 子どもがみずから危険を回避する力を育成するよう取り組む。

平塚 敬二議員（公 明）

公共施設マネジメント白書の作成

質問 区施設の整備と運営を効率化するには、施設の正確な実態把握が必要だ。建物の状況や運営経費などの詳細をまとめた公共施設マネジメント白書を作成せよ。

答弁 公共施設白書策定ではマネジメントに係る情報把握に努める。

老朽化した梅丘図書館の建てかえ

質問 梅丘図書館を梅ヶ丘病院跡地に移転する構想もあったが、跡地の取得面積の縮小で見送られた。老朽化が進んでいることを踏まえ、建てかえに直ちに取り組み。

答弁 新たな公共施設整備方針の策定を見据え引き続き検討を行う。

企業などと連携した環境教育

質問 環境モデル都市の応募に際し、区は環境教育の推進を掲げた。地元企業と連携して社会体験学習などを行っている北九州市の仕組みを区の環境教育に取り入れよ。

答弁 関係機関と連携し、環境教育をより一層推進していく。

あべ 弘幸議員（自民新）

社会保障費削減に向けた取り組み

質問 低所得者の生活安定や健康増進に寄与する施策に取り組むところが、増加傾向にある社会保障費の削減につながる。区は就労支援や健康増進策に力を注ぎ。

答弁 関係部署が連携し、区民の健康状況の把握や改善に取り組む。

後発医薬品の普及促進での配慮

質問 区は後発医薬品の使用で減額となる医療費を国保加入者に通知する予定だ。後発医薬品を普及促進する際は、区民の健康を配慮し安全性なども周知せよ。

答弁 区民が安心して利用できるよう関係団体と十分な検証を行う。

子どもの人権擁護の取り組み

質問 区は子どもの人権擁護の機関を新設する予定だ。いじめ問題などの解決を図るには、新たな機関の設置ではなく、既存機関の相談業務の改善や連携の強化を行え。

答弁 公正で中立な第三者機関の新設が必要であると考える。

津上 仁志議員（公 明）

在宅で療養するがん患者への支援

質問 在宅での療養を希望するがん患者がふえている。在宅で効果的ながん療養を行えるよう、在宅療養支援診療所などの必要な情報を区は積極的に提供せよ。

答弁 情報提供の方法や相談窓口の設置などの詳細を今後検討する。

「ごみ屋敷」問題への対応の強化

質問 「ごみ屋敷」問題の解決に向けた支所内各課の連携が十分とはいえない。足立区の例を参考に、専門部署の設置や各課が一体的に取り組み体制の構築を図れ。

答弁 一体的取り組みで解決を図るとの認識のもと、連携を進める。

受動喫煙防止に向けた工夫

質問 三軒茶屋駅周辺の路上禁煙地区にある喫煙場所では利用者が多い場合、はみ出して喫煙する人がいる。設置場所を再考するなど、受動喫煙防止に向けて工夫せよ。

答弁 周囲の迷惑にならないよう、喫煙マナーの向上を一層喚起する。



宇宙の星出飛行士と話そうー夢ミッション by 南三陸・世田谷キッズ 画像提供: JAXA/NASA

てるや 里美議員(生ネ社)

「子ども・子育て会議」の設置

【質問】 地域全体で子どもや子育てを支える仕組みをつくるのが重要だ。地域の実情に沿った子育て支援の展開に向け、多様な子育て関係者の声を聞く会議体を設けよ。

【答弁】 地域保健福祉審議会などの附属機関の活用も視野に入れる。

認定こども園制度の評価検証

【質問】 区立幼稚園のあり方の検討の中で、用途転換の基本に認定こども園が挙げられている。様々な課題が指摘されている中、子どもを中心とした評価と検証が必要。

【答弁】 これまでの評価などを踏まえ、さらに検討を進めていく。

女性の視点での災害対策の強化

【質問】 女性の視点に立った災害対策を強化すべきだ。地域防災計画に災害時の女性支援の拠点として男女共同参画センターを位置づけるなど、世田谷らしい対策を行え。

【答弁】 各種訓練を通じ男女共同参画の視点の重要性を周知していく。

中塚 さちよ議員(民主)

エンディングノートの普及促進

【質問】 終末期に備えて自分の意思を残すエンディングノートは判断能力を失っても意思を伝える手段として有効だ。区民成年後見人の支援を得るなどして普及に努めよ。

【答弁】 機会を捉え、自分の意思を明示しておくことの普及に努める。

訪問看護事業所一覧の作成

【質問】 医師が訪問診療時に症状に応じた訪問看護事業所をすぐに見つけるようにすべきだ。24時間体制の有無など各事業所の対応項目が一覧できる表を区独自で作成せよ。

【答弁】 内容の即時性の確保などが課題であり、今後研究していく。

外国人への区の見どころのPR

【質問】 日本について関心の高い外国人は多い。日本の文化や歴史を学べる区内の見どころを広くPRできるように、ボランティアのガイドを活用した仕組みを構築せよ。

【答弁】 観光や通訳の機能も含めて世田谷の文化を広く発信する。

石川 征男議員(自民新)

伝統文化を体験する機会の拡充

【質問】 子どもが日本人としての自覚や誇りを身につける上で、日本の伝統文化への理解を深めることは重要だ。教科日本語での伝統文化を体験する取り組みを充実せよ。

【答弁】 地域などの協力も得て伝統文化を体験する活動を充実する。

祖師谷公園整備への区長の決意

【質問】 一向に進まない都立祖師谷公園の整備について、区長から地域防災とまちづくりに責任を持つ自治体として意思表示をする旨の発言があった。改めて決意を示せ。

【答弁】 具体的な整備日程を示すよう、引き続き強く求めていく。

高齢者への詐欺被害防止策の強化

【質問】 高齢者を狙った振り込め詐欺が区内でも多発している状況だ。消費生活行政を担う区として、振り込め詐欺から区民を守るための対策に積極的に取り組め。

【答弁】 警察との連携を密にし、一層の啓発活動の強化に取り組む。

江口 じゅん子議員(共産)

介護事業所の宿泊事業の事故防止

【質問】 通所介護事業所が行っている介護保険適用外の宿泊事業で事故が発生している。事故防止に向け、区は事故内容などを関係事業者に情報提供し注意を喚起せよ。

【答弁】 法外事業で難しい面もあるが個人情報に配慮し情報提供する。

介護保険施設の整備促進

【質問】 特養ホームやショートステイ、小規模多機能型居宅介護の施設不足が深刻な状況だ。第5期介護保険事業計画に掲げた施設整備の目標達成に全力を挙げよ。

【答弁】 国や都に加え区も一部補助を行い、計画的な整備促進を図る。

外環道について

【質問】 外環道整備に伴い立ち退きを迫られる農業者や商工業者には、意向に沿った生活再建支援を行うべきだ。区が行った事業継続への意向調査の結果を示せ。

【答弁】 農業者の約半数と商工業者のほとんどが事業継続の意向だ。

三井 みほこ議員(自民新)

建物の屋上や壁面の緑化促進

【質問】 省エネ推進にはヒートアイランド対策が有効だ。冷房効率の向上による省エネ効果も期待できる屋上や壁面への緑化がさらに進むよう助成制度の周知に力を注げ。

【答弁】 従来の緑化の取り組みに加え一層の普及啓発を積極的に進める。

道路の遮熱性舗装の推進

【質問】 ヒートアイランド現象の軽減には、緑地や農地、河川からの冷気を広げることが重要だ。道路整備では夜間の放射熱を低減する遮熱性舗装を積極的に採用せよ。

【答弁】 今後も遮熱性舗装を採用し、都市環境向上に積極的に取り組む。

都と連携した災害医療体制の構築

【質問】 震災に備えた医療体制の充実が急務だ。都と連携した効果的な災害医療の体制整備に向け、具体的な情報集約の仕組みづくりや連絡手段の確保などを早急に行え。

【答弁】 都との連携強化を図り、災害医療体制の構築を目指す。

青空 こうじ議員(無所属)

青少年委員の選出における工夫

【質問】 青少年委員はやりがいがある反面、活動が幅広く多忙であり、委員の選出には相当な苦勞があると聞く。選出に当たっては区はどのような姿勢で臨んでいるのか。

【答弁】 委員の活動への理解促進に努め、人材発掘などを行っている。

青少年委員への積極的な支援

【質問】 地域とともに子どもを育てる教育を一層推進すべきだ。家庭や地域、学校のさらなる連携強化に向け、地域のかなめである青少年委員を区は積極的に支援せよ。

【答弁】 今後も青少年委員の活動の充実のために支援を続けていく。

廃校となった学校の有効活用

【質問】 区は城山小の改築において、旧若林中を仮校舎として活用する案を示した。費用軽減などの観点から、今後も廃校となった学校を改築時の仮校舎として活用せよ。

【答弁】 多様な手法を検証しながら、児童生徒の教育環境の確保を図る。



昨年12月にオープンした喜多見複合施設(喜多見5-11-10)

次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

（ページからの続き）

- 保育園条例（全員賛成）
池尻保育園の位置を池尻2-13-11に変更。
○児童館条例（全員賛成）
池尻児童館の位置を池尻2-13-11に変更。
○身体障害者自立体験ホーム条例（全員賛成）
身体障害者自立体験ホーム「なかまっち」の一時保護事業を、障害者自立支援法に基づく短期入所事業と位置づけるために必要な規定の整備。
○老人介護ホーム条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党 減税 みんな
- 使用料の改定や指定管理者が利用を拒否できる規定の削除など。
○子ども条例等
賛成 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 良新 み行 世田谷 あたら
- 子どもの人権擁護委員の設置とその職務などについての事項を子ども条例に規定することなど。
○保育条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党 減税 みんな
- 保育料と延長保育料の改定や、保育料などの算出基準となる世帯の階層区分の変更。
○地区計画区域内の建築物制限条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 み行
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 緑の党
- 建築基準法施行令の改正に伴い、防災備蓄倉庫の用途に供する部分などを容積率算定の基礎となる延べ面積に算入しない旨の規定を追加。
○公園条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党 減税 みんな
- 都市公園法の改正に伴い公園などの設置基準を規定すること、公園施設使用料の改定、桜上水45)の新設。
- 住環境整備条例（全員賛成）
建築計画の届出及び協議が必要な事項に、低炭素建築物新築等計画の認定申請の規定を追加。
○幼稚園保育料等条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党 減税 みんな
- 保育料の改定。
○郷土資料館条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党 減税 みんな
- 集会所の団体利用を開始することに伴う使用料の設定など。
○手数料条例（全員賛成）
低炭素建築物新築等計画の認定申請などに係る手数料を規定。
○区長等の給料条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 監査委員の給与条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 教育長の給与・勤務時間条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 以上3件は、給料月額の改定。
○区議の報酬・費用弁償条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 報酬月額の改定。
○職員給与条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 幼稚園教育職員給与条例
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行
- 以上2件は、給料月額の改定など。
- 協議
○清掃協議会規約変更（全員賛成）
一般廃棄物処理業と浄化槽清掃業の許可事務を東京二十三区清掃協議会で共同処理するための規約の変更。

特別区道路線の認定 2件

所在地	延長(m)
梅丘2-23	110.83
相師谷6-33	98.11

専決処分の承認 1件

○一般会計補正予算（第三次）（全員賛成）
東京都知事選挙と東京都議会議員補欠選挙を執行するため、歳入歳出予算それぞれに二億八千六百万二千円を追加。三次補正後の予算額は二四三億二九二万九千円。

人権擁護委員候補者の推薦 1件

○次候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。
氏名 住所
田中 京子（再任） 豪徳寺

教育委員会委員任命の同意 2件

○榑原 博子（新任）
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 み行 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 良新
○堀 恵子（新任）
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 み行 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 緑の党

監査委員選任の同意 1件

○宮崎 孝（新任）（全員賛成）

趣旨採択したもの 3件

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願（全員賛成）
○保育室のゼロ歳児保育に対する支援と、保育室としての施設移転・拡充の支援を求める陳情
賛成 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 良新 み行 あたら 無所属

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

○世田谷区の指定校変更の制限に関する進め方の改善を求める陳情
賛成 公明 生社 共産 民主 世田谷
賛成多数 反対 良新 み行 緑の党 減税 虹 あたら 無所属
○「不採択としたもの」4件
○「デジコン映像事業の破綻」の真相究明と産業振興政策の見直しを求める請願（本件は区民生活常任委員会に付託された請願）
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 虹 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 み行 緑の党
○「デジコン映像事業の破綻」の真相究明と産業振興政策の見直しを求める請願（本件は議会運営委員会に付託された請願）
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 緑の党
賛成多数 虹 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 緑の党
○災害時広域避難所としての明大八幡山グラウンドの存続を求める陳情
賛成 良新 公明 生社 共産 民主 み行 緑の党
賛成多数 世田谷 あたら 無所属
反対 共産 緑の党
○以上4件の賛否は、不採択とすることに對するもの。

新しく出されたもの 2件

○区立幼稚園のあり方についての陳情
○「仮称」区立幼稚園のあり方に係る具体的方針（案）に対する陳情

要望書

区議会は、次の要望書に関係機関あてに提出しました。
○固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書
区民や小規模事業者を取り巻く環境は、長期に渡る景気の低迷に

加え、世界的規模の経済状況悪化などにより、危機的かつ深刻な状況にあり、雇用不安の拡大、金融事情の悪化、後継者不足など、さまざまな危機にさらされています。このような社会経済環境の中で、世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。よって、世田谷区議会は東京都に対し、次の事項を実施されるよう要望いたします。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一を軽減する措置を引き続き平成25年度以降も実施すること。
2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税を2割減免する措置を引き続き平成25年度以降も実施すること。
3. 商業地等における固定資産税・都市計画税に対し、負担水準の上限を65%に引き下げる減免措置を引き続き平成25年度以降も実施すること。

平成24年11月20日
東京都副知事 あて

委員長の互選結果

○議会運営委員会
委員長 菅沼 つとむ（自民新）
委員長の失職
大場やすのぶ議員（自民新）と羽田圭二議員（生新社）、里吉ゆみ議員（共産）は、12月7日に東京都議会議員補欠選挙に立候補したため、区議会議員を失職しました。

会派等の変更

「みんなの党・世田谷行革10番」が11月16日付で会派を解消し、同日付で大庭正明議員と田中優子議員、桃野よしひみ議員が「みんなの党・世田谷行革10番」を、すえおか雅之議員が「みんなの党」を結成しました。

会派等の構成

議員の失職と会派等の変更があったため、区議会の会派等の構成は次のとおりとなりました。

自由民主党世田谷区議団・新風	15人
公明党世田谷区議団	10人
生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団	5人
日本共産党世田谷区議団	4人
世田谷民主党	3人
みんなの党・世田谷行革10番	3人
緑の党Greens Japan世田谷	1人
減税世田谷	1人
レインボー世田谷	1人
世田谷無所属	1人
未来あたら世田谷	1人
みんなの党	1人
無所属	1人
合計	47人

（欠員3人）

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。
TEL (5432) 2779
TEL (5432) 3030
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録（2月中旬発行予定）をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。



野菜の宝船（第42回世田谷区農業祭）